南アルプス　塩沢・左俣

2009.12.29-31

L 河崎・斉籐・杉山（AC 横浜）

今年も半ばを過ぎた頃から、年末はどこにしようかと言う話をなんとなくするようになり、昨年は黄蓮谷左俣を行ったので、あとめぼしい所と言ったら塩沢が順番的になり、決定した。グレードが高そうな沢だったので当初は不安もあったが、調べるうちに右俣でもそこまで厳しくはなさそうであった。当初左・右両方行く予定だったが、杉山さんの都合により年内下山で左俣のみとなった。

結果は、アプローチが大変疲れたがアイス自体は快適に楽しむことが出来た。

12.28（月）

仕事納めをして定時に会社を出ることが出来たので、早めに出発することが出来た。高速も空いていてスイスイ飛ばし、１２時半ごろには伊那の南アルプス村長谷に着いた。誰もテントを張っておらず快適だと思ったのも束の間、地元の若い連中がたむろして来て、エンジンを掛けっぱなしで夜中までうるさく、あまり寝られなかった。

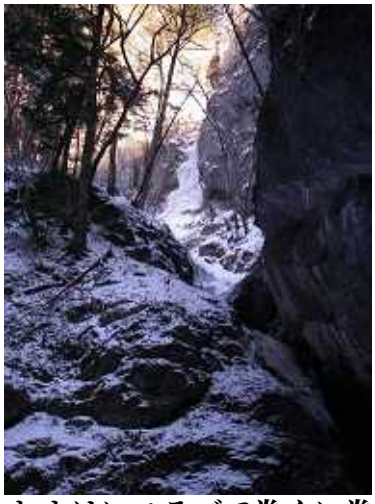
12.29（火）

明け方、岳沢に向かう人たちの車が来ていた。他にもテントを張っているパーティーもあった。

塩沢のアプローチは戸台大橋の手前の林道が川の方に下りている所で、ゲートがあり入れなくなっている。朝の準備をして

いても日がまだ差さず寒々しい。

しばらくは車も通れる林道を歩き、小一時間ほどして尾勝谷と別れ、いよいよ塩沢に入っていく。道は河原沿いに歩くが、岩がごつごつしていて非常に歩きにくい。渡渉もあったりして、神経を使ったり、雪が



岩の上に乗っていて滑ったりするので疲れる。途中側壁ルンゼが左から入ってきたが、下の方は水流が出ており、おまけにスラブで巻くに巻けずとても登れる感じではなかった。もっと時期が遅ければ下まで凍るかもしれない。

やっとの事で二俣に到着。しかし良いテン場が無くみんなでウロウロ探す。杉山さんが右俣に少し上がったところに何とか張れる所を発見してそこに落ち着く。今回は快適性を重視して 4-5 人テンなので場所探しも大変だ。

テントを張り終え右俣に少し登りに行

こうとすると後続パーティーが来た。山岳同人カルパッチョの二人であった。人が来るとは思ってなかったのでびっくりしたが、なんだか安心する。

さて、右俣で今日は少し練習をするので遡行して行き小氷瀑で練習したりする。F2 を見たところで下山したが、なかなか登り応えがありそうだった。

夜は私の持ってきたバターたっぷりのシチューで精をつけたが、夜は思ったよりも暖かく、暑すぎて凄い寝汗をかいてしまった。

＜コースタイム＞

(7：40) 出発 - (8：45) 塩沢出合 - (11：45) 二俣

12.30 (水)

時間が掛かりそうとの予想から、早めの起床。しかしまだ暗かったため、しばし時間調整をしてから出発。

少し行くと氷瀑が出て来た。F1 だ。そこを越すと先の方に大きな滝が。F2 である。

後続のカルパッチョさんも来たが、杉山さんリードで先に登り出す。

スケールはあるが傾斜はそれ程ではなく、僕は下でのんびりとカメラマンをしていた。３人とも技術的にも同程度であり、安心して見ていられるのが良い。

慎重に登り切り、次にうちら二人は始め同時に登り出す。途中からルートが一緒になるのでしばし私が待ってから最後に登り切った。アイスはセカンドは楽なもんだ。

次に現れたのが F3、ガイドだと４５m で傾斜があるのが長く続くとあるが、下の方はゆるやかで、途中５m 位が少し立っているだけで全く問題ない。僕がリードしようとしていたが、つまらなそうなので斉藤さんに譲る。

その後しばらく小氷瀑を越えていくが、二俣状の所に出て、トポだと右の方に入って行くようになっているのでその通りに行ったがなんだかおかしいと気づき途中で引き返すロスがあった。地図で確認したら方角が間違っていた。アイスとは言っても沢なのでちゃんと確認しないといけなかった。戻るとカルパッチョさん

に先を越されていた。その先に見えた滝は上の方が薄そうでF7位かなと思った。

斉藤さんがどうしますと聞いてきたので、とり

あえず登るかということでリードした。後で確認したそれがF10で、逃していたらリード無しで終わっているところだった。

そこを登り終えてなんだかんだしていると、上の方からがやがや声が聞こえる。先行していたカルパッチョさんが先のほうを確認しに行っているとの事。結果、先ほどの滝がF10でこれで左俣の核心は終了という事になった。

とても50mもある感じではなく、写真とも全然違う感じであった。

拍子抜けしたところでしばし休んで、みんなで下山という事になった。人海戦術でザイルを持っている人がどんどん先に降りて懸垂支点を作る感じで、あっという間にF2の下まで降りることが出来た。

F2の下でみんなで記念撮影。なんだか観光地に来たみたいだった。そこからカルパッチョさん達が朝来たというトラバース道をみんなで降りたが、うちらが来た沢沿いの道と比べて楽であった。

今日当たり年末に入るパーティーが来ているかなと思ったら、一張りテントが増えていた。

春日井山岳会と大阪の人のパーティーで、春日井の人は有名らしい。右左とやるらしい。

今日は昨日と比べて余裕もあり、もう一つの目的だった焚き火をするために準備を始めた。冬の焚き火はしたことが無く、一度はしてみたかったのだが、幸い薪は腐るほどあり火もすぐに着いた。途中から小雪も降ってきたが、斉藤さんが持ってきたブルーシートも張りそれなりに快適に過ごすことができ、冬でも雪が降っていなく、風も穏やかだったら十分出来ると思

った。3月位だったらもっと快適であろう。しかし、おかげで冬の服なのに焚き火臭くてしょうがなくなってしまった。

酒と、鍋の夕飯もおいしく頂き最終日の夜は静かに更けていった。

＜コースタイム＞

(6：30) 出発 - (9：00) F2 上 - (12：30 - 13：00) F10 上 - (15：30) テン場

12.31 (木)

下山だけなのでゆっくりと起き、9時頃出発。帰りも来た時に比べてはるかに楽な感じで降りることが出来た。

途中尾勝谷の出合の林道終点の所に車があったが、ゲートの空け方を知っていたのだろうかと思い、帰りに見てみた。するとただ針金で留めてあるだけで簡単に入れることが判明！次回来るときはアプローチ1時間ほど短縮が出来るだろう。

塩沢、ガイドだとグレードが高そうで手ごたえがありそうな印象であった。しかし、左俣は全くそんなことは無く、快適に登れると思う。そして、右俣も油断してはいけないが、そこまで厳しくは無いと思う。アプローチも短縮できることが分かったし、人も少なく静かにアイスクライミングをするにはいいエリアだと思った。

今回もいつもの二人と行け、無事達成することが出来た事に感謝です。

＜コースタイム＞

(9：20) 出発 - (12：30) 車